

令和3年度 自己評価書

学校名	和歌山市立紀伊小学校
校長氏名	杉野 裕香子
作成日	令和 4年 2月 17日

1 教育目標

『心豊かに たくましく生きる 子供を 育てる』

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆全国学力・学習状況調査、県学習到達度調査で、全国や県平均を上回る。 ◆児童アンケートで「毎日の勉強がわかる」を90% 	<ul style="list-style-type: none"> ◆児童アンケートで、「学校が楽しい」が90%以上。 ◆いじめのない学校づくり(いじめ解消率100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「早寝、早起き、朝ごはん」の定着90% ◆全校チャレンジ(マラソン・なわとび)の実施。 ◆避難訓練を学期ごとに実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆保護者アンケートで、「学校の様子がわかる」を90% ◆体験学習や出前授業など、外部講師や専門的な講師を招く。
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力の向上 ○教員の授業力の向上 ○子ども主体の授業の推進 ○家庭学習の定着 ○読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育・人権教育の充実 ○自己肯定感や自尊感情が高められる取り組みの推進 ○特別支援学校や幼稚園との交流 ○良好な仲間づくりの形成 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣の確立 ○運動に親しむ基礎を育てるとともに体力向上を図る ○検温・手洗い・マスク着用等の感染症対策の徹底 ○危機回避能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に情報を発信する。 ○地域や保護者からの提言の吸収に努め学校経営に生かす。 ○地域の資源活用を進める。
取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> ◇基礎学力定着のために、「紀伊タイム」を活用する。 ◇全学年が研究授業を行い、授業技術の向上を目指す。 ◇支援体制(TT)を整え、個に応じた指導・支援を行う。 ◇「家庭学習の手引き」を配布し、家庭学習の大切さを啓発する。 ◇読み聞かせを推進し、図書室の積極的な活用を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇人権学習参観やスクールカウンセラーによる授業を行う。 ◇ペア学習や学級会等で、関わり合う機会を持つ。 ◇紀伊幼稚園や校区内の支援学校との交流を図る。 ◇いじめアンケートを毎学期に実施し、いじめの早期発見・早期対応に努める。 ◇情報モラルやネット社会に潜む危険性について学ぶ機会を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「早寝・早起き・朝ごはん」を推奨する。 ◇体育科の授業の充実を図り、休憩や昼休みは、外に出て身体を動かすことを推奨(なわとび等)する。 ◇感染症防止のために衛生指導を行う。 ◇交通安全教室や避難訓練を行い、危機回避能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇HP、各種便り等を通して学校の情報を発信する。 ◇学校アンケートから学校へのニーズをとらえる。 ◇ゲストティーチャー、読み聞かせボランティア等の人材、地域の自然・文化を活用する。(出前授業、体験学習等)
取組の成果と課題【C】(評価)	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力・学習状況調査で全国や県平均とほぼ等しく、県学習到達度調査で県平均を上回る。 ○研究授業を全学年で実施。 ○課題解決に向けて、自分なりの方法で課題に向かう主体的な学習ができた。 ○読書時間が短く、ゲームやスマホの時間が長い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○参観日に道徳・人権に関する授業を行うことができた。 ○児童アンケートで「学校が楽しい」が95%以上だった。 ○校区内の支援学校や幼稚園との交流は、豊かな心の育成につながるが、コロナ禍のため活動が難しく、中止となる活動が多かった。 ○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」が100%であり、「友だちと仲良くしている」が96%(低学年)、99%(高学年)だった。いじめに対する意識が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者アンケートで「早寝・早起き・朝ごはんが身につけている」が80%。「朝ごはん」は食べているが、「早寝」の啓発が必要である。 ○手洗い、換気、マスク着用の徹底ができた。 ○コロナ禍で、大休時に行っていたマラソンやなわとびの全校チャレンジができなかった。体力や免疫力の向上が課題である。 ○避難訓練の実施により、実際の地震時は素早く、落ち着いて避難することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○出前授業として、「禁煙教室」「ものづくり教室」等、保護者や外部の方の協力を得て体験学習に取り組んだ。 ○リモート学習で工場見学等を行い、普段見られない豊かな経験をさせることができた。
改善方法【A】(次年度に向けての)	<ul style="list-style-type: none"> *基礎・基本の定着を図ると共に、自分の考えを説明し、論理的に書く活動を増やし、主体的に取り組む姿を目指す。 *タブレット端末を活用し、楽しく、わかる授業や宿題(課題)の出し方を研究する。 *図書室の環境を整備し、読書の時間を確保する等、読書活動の一層の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> *児童の実態把握や保護者との連携を図りながら、いじめのない学校・学級づくりに努める。 *特別支援学校や幼稚園との交流を図り、豊かな心の育成に努める。 *一人一人を大切に、個に応じた指導をすすめ、自尊感情が高められるような取り組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> *「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さについて、啓発に努める。 *児童の健康促進や基礎体力向上を図るため、全校チャレンジを継続する。 *登下校時の安全確保のため、PTAや関係機関との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> *地域や関係機関との情報共有・連携に努め、地域に開かれた学校を目指す。 *懇談会やアンケート、会合等から学校へのニーズをとらえ、よりよい学校運営を目指す。 *学校の様子が分かるように、ホームページ等による情報発信に努める。

3 その他の課題

<p>・スマホやゲームの長時間利用により、学習時間の減少、遅刻・欠席の増加、生活リズムの乱れ、交友関係の縮小等の悪影響が引き起こされる。利用には、子どもと家庭でルール作りを行う等、児童の利用状況を把握し、学校・家庭・地域が連携し、身近な大人が見守る体制づくりが必要である。</p> <p>・子どもたちの健やかな成長のためにも、学校・保護者・地域の連携・協力が必要であるが、コロナ禍のため難しい。学級懇談会、説明会、集会など子どもたちの活動や成長を実際に見て、話し合う機会が必要である。</p>
--